

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。
 ふくおかフードビジネス支援事業 A事業②

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

福岡県産の農林水産物等地域資源を活用した商品の開発・販路開拓を積極的に支援し、地域ブランドの確立を目指す。これまでの支援で開発された商品について、従来からの個別相談等による商品開発支援に加え、求評会等を通じて付加価値の高い売れる商品へとブラッシュアップし、そのうえで、都市圏での大型展示商談会に出展することにより販路を拡大を図る。

そのために、以下の取組を実施。

(1) 商品開発支援（専門家派遣）

- ・意欲の高い生産者に対し、マーケティングから製造、販売に至るまで、各分野の専門家（農商工連携アドバイザー）がチームとなって伴走支援を実施

(2) ブランディング支援

- ・開発した商品をブラッシュアップし商品力を向上させる機会を提供
- ・生産設備を持たずロット対応ができない事業者等のために OEM 受託事業者との交流会を開催

モニター調査会 1回

バイヤー求評会 1回

OEM マッチング交流会 1回

(3) 販路開拓支援

- ・大都市圏で開催される大型展示商談会（FOODSTYLE JAPAN<東京>、FOODSTYLE JAPAN<九州>）への出展支援、ならびにバイヤーを招聘しての個別商談会（2回）の開催

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

(1) 商品開発支援（専門家派遣）

① 農商工連携アドバイザーの派遣支援

農商工連携アドバイザーが福岡県産農林水産物を使って商品を開発したいと思っ
 ている意欲のある生産者・商工業者を訪問し、商品開発を支援する。

登録アドバイザー数：16名 派遣回数：116回

(2) ブランディング支援

① モニター調査会

商品開発・改良にあたり、消費者の率直な感想を取り入れることで、商品力を向上
 させる調査会を開催

日 時 令和7年12月6日（土）9：40～12：10

会 場 福岡県中小企業振興センタービル 501会議室

参 加 者 事業者：6社 モニター：27名

② バイヤー求評会

商品開発・改良にあたり、大手小売業界のバイヤーからの評価や改善提案をもら
 うことで、商品力を向上させる求評会を開催

日 時 令和7年10月16日（木）13：00～16：10

会 場 福岡県中小企業振興センタービル 501会議室

参 加 者 バイヤー：4社 事業者：11社

③ OEMマッチング交流会

生産設備を持たずロット対応ができない事業者等のためにOEM受託事業者との交流会を開催

日 時 令和7年8月28日(木) 13:00~16:30
 会 場 福岡県中小企業振興センタービル 301会議室
 参加者 OEM受託可能事業者:5社 事業者:10社

(3) 販路開拓支援

① 大型展示商談会への出展支援

「FOODSTYLE JAPAN 2025<東京>」及び「FOODSTYLE JAPAN 2025<九州>」に特設ブースを設置し、来場バイヤーへの商品PRと商談を実施

「FOODSTYLE JAPAN 2025<東京>」

日 時 令和7年9月25日(木)~26日(金)
 会 場 東京ビックサイト 東ホール
 出展事業者 11社
 商談状況 商談数:216件 成約:13件

「FOODSTYLE JAPAN 2025<九州>」

日 時 令和7年11月19日(水)~20日(木)
 会 場 マリンメッセ福岡
 出展事業者 20社
 商談状況 商談数:281件 成約:36件

② 個別商談会の開催

福岡県産農林水産物を活用した食品等を製造する事業者には販路拡大の機会を提供するために、事前マッチング型の個別商談会を開催

日 時 令和7年7月3日(木) 12:30~16:50
 会 場 福岡県中小企業振興センタービル 501会議室
 参加者 バイヤー:6社 事業者:17社
 商談状況 商談数:33件 成約:7件

日 時 令和8年2月26日(木) 12:30~16:50
 会 場 福岡県中小企業振興センタービル 501会議室
 参加者 バイヤー:6社 事業者:17社
 商談状況 商談数:36件 成約:31件

(4) ITを活用した販路拡大支援

① 自営通販サイト「よかもん市場」での出展支援

よかもん市場への新規出店料の支援や通販サイトの円滑な運営を行った。

② 自営情報サイト「もっと福岡」による情報発信

地域商材の魅力を引き出すための取材を行い、その情報を、自営情報サイト「もっと福岡」を通じて多くの消費者に情報発信した。

(もっと福岡・SNS掲載)

No	事業者名	取扱商品	掲載月
1	糸島漁協芥屋支所	糸島・芥屋のウニ	8月
2	まつなが農園	辛子高菜	9月
3	いりえ茶園	オーガニック八女茶ペースト	9月
4	能古島ノコマート	ロゴTシャツやトートバッグ	9月
5	馬場ファーム	脇山米使用モチモチ『脇山ジェラート』	9月
6	椛島氷菓	カバ印のアイスクャンデー	10月
7	夜明茶屋(ひらやま)	むつごろうラーメン	10月
8	エビス味噌	味噌	10月
9	廣久葛本舗	久助葛	11月
10	糸島マスエワイナリ	地魚と糸島産ワイン	11月
11	金芳醤油醸造元	醤油	11月
12	奈良漬さろん安部	酒粕ドレッシング&ジェラート	11月

(SNSフォロワー数推移 (人))

4月	5月	6月	7月	8月	9月
7,408	7,404	7,382	7,372	7,353	7,352
10月	11月	12月	1月	2月	3月
7,382	7,389	7,401	7,402	7,402	7,398

③体験イベントの開催

消費者目線で商品の安全・安心を伝えるとともに今後の商品開発の参考とすることを目的としたイベントを開催した。

No	内容	参加人数	実施月
1	オーガニック緑茶ペーストお料理作りワークショップ	8名	9月
2	糸島漁協芥屋青壮年部ウニの養殖スタディ&ワークショップ	6名	10月
3	お醤油づくりワークショップ	8名	1月
4	キムチづくりワークショップ	12名	1月
5	あまおうお酒の原材料加工体験ワークショップ	7名	3月
6	陸上養殖ノリ・海ぶどう体験ワークショップ	6名	3月

【評価(計画と比較した目標の達成度)、分析(実施した結果新たに生じた課題、数値の検証等)】

数値目標	目標	実績	数値の検証
商談会設定	150件	566件	達成
商談成立	40件	87件	達成
商品開発・改良	30件	56件	達成
IT活用販路拡大 フォロワー	8000人	7,398人	92.4%
BtoC売上拡大	20社	20社	100%
BtoB商談成立	30社	38社	126.6%

【今後の進め方<波及効果を含めて>をどうするのか】

令和7年度の実績を踏まえ、より事業効果を上げるため、以下に留意して令和8年度も引き続き同事業に取り組む。

- ・付加価値の高い商品を開発し、ブランド化するための支援を各分野の専門家がチームとして行う。
- ・商品力を向上させるため、消費者モニター調査会、バイヤー求評会を引き続き実施する。さらに生産設備を持たずロット対応ができない事業者等のためにOEM受託事業者との交流会を開催する。
- ・付加価値を高めた商品を都市圏のバイヤーや消費者に直接アピールするため、九州開催に加え東京で開催される大型展示商談会への出展支援を行う。
- ・地域資源を活用した魅力ある商品の情報発信を継続し、見込み客のさらなる囲い込みを行うとともに、各種イベントの開催を通じて地域事業者の消費者・バイヤーに対する訴求力向上を図る。
- ・支援事業者の掘り起こし等において他の支援機関との連携をさらに進める。

【事業名】

新分野参入・受注拡大支援事業 A事業②

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

受託加工は、社会情勢や価格競争の影響を受けやすく、中小企業の持続的経営に支障をきたす要因にもなりうる。経営基盤強化のためには、自社コア技術を活かして安定的な受注が確保できる産業への参入が望ましいが、要求される加工品質・管理レベル等が非常に高く、さらに一定期間同産業での経験等が条件となることもまれではない。

そのため、新規参入障壁は高いものの、今後の市場拡大が見込まれ、参入後の安定的な受注量確保が期待できる医療機器産業や市場の急速な伸びが見られる半導体関連産業への参入支援として展示・商談会等を実施した。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

- ①医療機器メーカーの研究開発部門や調達部門をターゲットに地元中小企業が有する技術や工法、製品をPRする「技術提案展示商談会」の開催
- ②医療機器産業及び半導体産業への新規参入・取引拡大に意欲的に挑戦する企業の製品・技術をPRする「大規模展示会」への出展
- ③県内半導体関連企業が現地企業等との取引開始支援及び出展企業をPRする「海外大規模展示会」への出展

①技術提案展示商談会

名称：福岡県技術提案展示商談会
 会場：ニプロ(株)ライフサイエンスサイト
 期間：令和7年5月29日(木)
 出展企業：29社(うち新規出展企業14社)
 新規営業先開拓：516先
 見積書提出：29件
 商談成立：6件(600千円、金額非開示5件あり)
 新規参入見込：14社
 受注拡大企業数：1社

No	出展企業	No	出展企業
1	(株)アウトソーシングテクノロジー	16	(株)創世エンジニアリング
2	(株)豊洋製作所	17	(株)FUJI
3	(株)デンケン	18	合同会社ジーシステム
4	東京特殊印刷工業(株)	19	アスカコーポレーション(株)
5	(株)モビテック	20	(株)岡崎製作所
6	(株)マブチ・エスアンドティー	21	大塚精工(株)
7	i-PRO(株)	22	ナノテック(株)
8	リックス(株)	23	藤井精工(株)
9	(株)豊光社	24	(株)九州電化
10	(株)メック(機器営業部)	25	(株)九研
11	KISCO(株)	26	(株)熊本精研工業
12	(株)メック(ナノファイバー事業部)	27	(株)SING
13	(株)エムティアイ	28	(株)新菱
14	マクセル(株)	29	(株)ピーエムティー
15	(株)三井化学分析センター		

②大規模展示会

名称 : 機械要素技術展
 会場 : 幕張メッセ
 期間 : 令和7年7月9日(水)～11日(金)
 出展企業 : 10社(うち新規出展企業2社)
 新規営業先開拓 : 498先
 見積書提出 : 5件
 商談成立 : 3件(550千円)
 新規参入見込 : 2社
 受注拡大企業数 : 2社

No	出展企業	No	出展企業
1	ラックデザイン(株)	6	(株)ピーエムティ
2	(株)熊本精研工業	7	(株)メイホー
3	(株)九州プレシジョン	8	黒木コンポジット(株)
4	(株)古賀歯車製作所	9	東京特殊印刷工業(株)
5	東亜精工(株)	10	(株)ロジカルプロダクト

名称 : 第2回九州半導体産業展
 会場 : マリンメッセ福岡
 期間 : 令和7年10月8日(水)、9日(木)
 出展企業 : 11社(うち新規出展企業7社)
 新規営業先開拓 : 590先
 見積書提出 : 119件
 商談成立 : 1件(50千円)
 新規参入見込 : 7社
 受注拡大企業数 : 1社

No	出展企業	No	出展企業
1	(株)シュハリシステム	7	ラックデザイン(株)
2	(株)エヌ.エフ.ティ	8	(株)豊光社
3	(株)睦美化成	9	(株)ロジカルプロダクト
4	(株)九州プレシジョン	10	合同会社ジーシステム
5	(株)横浜アートニクス	11	(株)メック
6	(株)中島ターレット		

名称 : 第8回メディカルジャパン東京
 会場 : 幕張メッセ
 期間 : 令和7年10月1日(水)～3日(金)
 出展企業 : 10社(うち新規出展企業4社)
 新規営業先開拓 : 418先
 見積書提出 : 33件
 商談成立 : 15件(7,291千円)
 新規参入見込 : 4社
 受注拡大企業数 : 7社

No	出展企業	No	出展企業
1	ラックデザイン(株)	6	(株)博有
2	(株)エムティアイ	7	医療生成 AI 協会 MGAIA
3	オーラバブル(株)	8	アイクオーク(株)
4	(株)メディカルインクス	9	コモン・クリエーション(株)
5	(株)ワールドグローブ	10	飯塚病院・済生会飯塚嘉徳病院・飯塚市立病院

名称 : 第40回ネプロコンジャパン
 会場 : 東京ビッグサイト
 期間 : 令和8年1月21日(水)～23日(金)
 出展企業 : 13社(うち新規出展企業2社)
 新規営業先開拓 : 1, 101先
 見積書提出 : 22件
 商談成立 : 3件(4, 500千円)(見込)
 新規参入見込 : 2社
 受注拡大企業数 : 2社

No	出展企業	No	出展企業
1	(株)マブチ・エスアンドティー	8	リックス(株)
2	マクセル(株)	9	(株)九州プレシジョン
3	(有)トリオ商事	10	(株)坂田精密
4	日本コーティングセンター(株)	11	(株)ピーエムティー
5	OPI(株)	12	(株)坂本電機製作所
6	(株)九州電化	13	(株)中島ターレット
7	アスカコーポレーション(株)		

③海外大規模展示会

名称 : SEMICON Taiwan 2025
 会場 : 台北南港展覧館
 期間 : 令和7年9月10日(水)～12日(金)
 出展企業 : 4社
 新規営業先開拓 : 261先
 見積書提出 : 6件
 商談成立 : 0件
 新規参入見込 : 4社
 受注拡大企業数 : 0社

No	出展企業	No	出展企業
1	(株)九州プレシジョン	3	アスカコーポレーション(株)
2	リックス(株)	4	(株)坂田精密

【評価（計画と比較した目標の達成度）、分析（実施した結果新たに生じた課題、数値の検証等）】

数 値 目 標	目 標	実 績	数値の検証 (達成率)
参加県内企業数	50社	77社	154.0%
新規営業先開拓	500件	3,384件	676.8%
見積提出件数	15件	214件	1,426.6%
商談成立件数	8件	28件	350.0%
商談会初出展、 新規提案企業数	10件	33件	330.0%
受注拡大企業数	5社	13社	260.0%
海外展示会 出展企業数	4社程度	4社	100.0%

【今後の進め方<波及効果を含めて>をどうするのか】

医療関連産業については、近年、医療機器構成部品の加工取引が実現するなど具体的な成果が出てきた。今後は出展企業を対象に、研修会及び個別訪問を実施して、各社ごとの参入可能性の分野や、強みのPR方法をレクチャーした上で、新規参入企業の開拓や商談会等の開催を通じた取引拡大を推進しさらに成功事例を増やしていく。

半導体関連産業については、TSMCの熊本進出に続き、半導体後工程の世界大手ASEが北九州市に進出を検討するなど九州の半導体関連市場は急拡大しており、新規参入や販路拡大への絶好の機会である。そのため、「福岡県半導体・デジタル産業振興会議」と連携し、地元企業の発掘をより一層積極的に行うとともに、企業からのニーズが高まっている台湾等の海外半導体関連企業や商社との商談やプロモーション支援を行う。

これらの取組を通じ、受注機会の創出を図ることで県内企業の技術レベル向上、および企業間連携による受注体制構築、さらには開発から生産までの一貫体制が確立した医療機器・半導体先進地域を目指す。

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。
小規模事業者等改善提案事業 A事業②

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

福岡県内の小規模事業者は多くの潜在力を有する一方で、その活用が十分ではない。これら事業者を地域の中核企業へ成長させるため、以下支援（経営課題の可視化と改善支援）を実施する。

- (1) 「福岡県経営強化改善提案書」の発行
 - ・定性・定量分析により課題を整理し、改善策と将来予測（シミュレーション）を提示
 - ・経営者との面談・実態調査を行い提案書を作成し、内部・外部審査を経て発行
 - ・金融機関等と連携した経営改善の指針として活用
- (2) 課題解決支援の実施
 - ・審査等での助言内容のフィードバックを実施
 - ・専門家派遣による課題解決支援
 - ・事業計画書・改善計画書の策定支援

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

- (1) 「福岡県経営強化改善提案書」の発行
提案書発行件数 20社（経営者との面談回数 延べ60回）
- (2) 課題解決支援の実施
 - 専門家派遣支援 7社（支援予定2社）
 - 推薦（支援）機関による支援 8社
 - 自社のみでの改善取組 5社

【評価〈計画と比較した目標の達成度〉、分析（実施した結果新たに生じた課題、数値の検証等）】

数値目標	目標	実績	評価
提案書の発行	25件	20件	ほぼ達成
課題解決支援（事業計画書作成）	15件	7件	未達

・提案書の発行 目標25件に対し実績20件
提案書の発行は1件あたり受付から発行まで約2か月を要する。また、今年度は期初に実施要領等の作成に時間を要し、実質的な事業開始が6月となったことから、件数は目標未達となった。

・課題解決支援 目標15件に対し実績7件
提案書のブリーフィングを実施した結果、推薦機関と協力し自社で事業計画等を作成したいとする事業者が多く見られたことから、支援件数は伸び悩んだ

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

事業運営体制の強化および支援プロセスの標準化を進め、支援内容の質の向上と支援効果の最大化を図る。併せて、関係機関との連携を一層強化し、適切な支援対象への円滑な接続を促進するとともに、支援後のフォローアップを充実させることで、継続的な成長につながる運営を行う。

- (1) 改善取組効果の向上

- ・ 申込時に事後支援の方向性を明確化し、経営者の主体的な取組を促進
- ・ 提案書を基に、支援機関と事業者の認識を共有し、伴走支援を強化

(2) 推薦機関の拡大

- ・ 金融機関以外（商工会、同友会等）からの推薦を強化
- ・ 県内支援機関への周知を徹底し、支援対象の拡大を図る